

## 令和6年度 生徒・保護者 学校評価アンケートについて

- 令和6年11月に昨年度同様の質問項目で生徒対象・保護者対象のアンケートを実施しました。それぞれの評価項目に対して「1:良く当てはまる」「2:だいたい当てはまる」「3:あまり当てはまらない」「4:当てはまらない」の4つから選んでいただきました。
- 各質問の年度毎の数字(%)は「1:良く当てはまる」「2:だいたい当てはまる」の合計(%)を記しました。

No	項目	生徒 (R6. 62名回収) (R5. 82名回収)				保護者 (R6. 61名回収) (R5. 82名回収)			
		R 5年度	R 6年度	前年度比		R 5年度	R 6年度	前年度比	
1	学校として、スクールポリシー（学校HP「岩高の教育」に掲載）に基づいた教育課程が編成・実践されている。	90.2%	100.0%	9.8%	↑	92.7%	96.7%	4.0%	↑
2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われていますか。	89.0%	95.2%	6.1%	↑	85.4%	90.2%	4.8%	↑
3	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われていますか。	92.7%	96.8%	4.1%	↑	96.3%	93.4%	-2.9%	
4	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われていますか。	92.7%	96.8%	4.1%	↑	84.1%	90.2%	6.0%	↑
5	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができていますか。	87.8%	96.8%	9.0%	↑	91.5%	96.7%	5.3%	↑
6	学校として、部活動は活発に行われていますか。	87.8%	98.4%	10.6%	↑	82.9%	90.2%	7.2%	↑
7	学校として、生徒会活動は活発に行われていますか。	89.0%	93.5%	4.5%	↑	93.9%	93.4%	-0.5%	
8	自分にとって、有意義な学校行事はありますか。	86.6%	95.2%	8.6%	↑	90.2%	96.7%	6.5%	↑
9	学校として、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいますか。	91.5%	93.5%	2.1%	↑	87.8%	86.9%	-0.9%	
10	生徒に対して（保護者に対して）、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられていますか。	90.2%	100.0%	9.8%	↑	78.0%	83.6%	5.6%	↑
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられていますか。	90.2%	98.4%	8.1%	↑	91.5%	86.9%	-4.6%	
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されていますか。	70.7%	80.6%	9.9%	↑	74.4%	72.1%	-2.3%	
13	学校として、日頃からいじめの実態把握や早期発見に取り組んでいますか。	81.7%	90.3%	8.6%	↑	70.7%	77.0%	6.3%	↑
14	（生徒にとって、）学校生活は充実していますか。	79.3%	90.3%	11.1%	↑	82.9%	91.8%	8.9%	↑
15	授業や課外などの教科指導が熱心に行われていますか。	97.6%	100.0%	2.4%	↑	92.7%	93.4%	0.8%	↑
16	進路に関する情報は十分に提供されていますか。	91.5%	100.0%	8.5%	↑	87.8%	91.8%	4.0%	↑
17	学校は地域から信頼されていますか。	86.6%	95.2%	8.6%	↑	90.2%	91.8%	1.6%	↑

### <考察>

- ・生徒からはすべての質問項目に対して8割以上の肯定的な評価を得た。特に質問14について評価が高く、他項目の総合的結果に基づく評価ではないかと思う。この結果については保護者も同様であり、生徒の充実した学校生活について保護者にも良く伝わっていると思われる。
- ・質問3に対しては、生徒の評価が上昇しているのに対し、保護者の評価が約3%下がっているが、どちらも90%以上と高い水準で評価を得ている。この評価を維持することが大切だと思う。
- ・質問11に対しては生徒の評価が約98%に対し、保護者は約87%となっており、保護者に対する学校の情報伝達について生徒を通じた伝達だけでなく、Classiやe-メッセージを積極的に使用する対策等が必要であると考えられる。
- ・質問12に対して、施設等使用している生徒の評価は80%以上と昨年度より上昇している。保護者についても3%未満の下降にとどまっている。引き続き施設設備等の整理を続け、維持・改善していくことが大切だと思う。
- ・昨年度同様に今後も小規模校ゆえの小回りを生かし、生徒が主体的な学校生活に取組めるよう、また、地域により愛され、より必要とされる学校となるため、本校の教育活動に対する地域や保護者の理解が一層深まるよう、開かれた学校づくりに励んでいきたいと思う。